

# 定例議会レポート

2010.12 月定例会

～市民に開かれた議会を目指して！～



## 阪本 かつみ

《役職》

保健福祉常任委員会 副委員長

見沼田圃将来ビジョン特別委員会 委員

農業委員会 委員

コンパクトなまちづくりに対応した土地利用検討委員会 委員

## 市政に対する一般質問に臨む

### 質問項目

- さいたま市の将来都市像について
  - 1) 自立都市を目指して
  - 2) 本市の進めるコンパクトシティとは
- 桜区のまちづくりについて
  - 1) 荒川を活かしたまちづくりについて
  - 2) 西浦和駅周辺のまちづくりについて
- さいたま市新クリーンセンター整備事業について
  - 1) 事業者選定の経緯と結果について
  - 2) 優秀提案者の提案について
- 事業仕分けについて



議会改革で実現した対面式演壇で質問

### 荒川を活かしたまちづくりについて

#### 阪本

荒川は様々な魅力を備えた貴重な潤い空間です。海のないさいたま市において、荒川の水辺に遊歩道やテラスを整備するなど、荒川をもっと利用したまちづくりを進めるべきだと考えるが見解を伺います。

#### 都市局長

荒川河川敷地域は、将来都市構造を作るうえで重要な、都市・田園交流エリアの重点地域に位置付けております。今後、首都圏有数の緑資源である荒川の河川空間について、優れた自然環境のシンボルとして、自然とのふれあいや緑に親しめるレクリエーション空間として、まちづくりに活かしてまいります。



2月定例会は2月1日(火)に開会する予定です。

### 新クリーンセンター整備事業について

#### 阪本

今後事業を進めるうえでは、地元との信頼関係を構築し維持することが重要で、地元住民からの要望にはできる限り誠意をもって対応することが大切だと考えています。

施設が整備されることで地元が得られるメリットはどのようなものなのか。

#### 環境局長

温浴施設等の余熱体験機能を含んだ複合施設のほか多目的広場、ビオトープ、公園なども整備することとしており、周辺環境を活かした環境教育や環境活動の場を提供すると共に、子供から大人・高齢者を対象とした健康増進や地域の憩いの場として利用していただけるものと考えております。



阪本かつみオフィシャルブログのQRコードです。  
お手持ちの携帯電話等でQRコードを読み取ってご覧ください。

阪本かつみ オフィシャルウェブサイト

<http://sakamoto-katsumi.net/>

## さいたま市議会の「議会改革」着実に進む！

議会改革の目的は、市民から信頼される、活発に議論する議会の実現です。

これまで、私たちの会派は、常に「議会改革」の先頭に立って取り組んで参りました。そして、大きな成果を上げることが出来ました。

- ・ 政務調査費：第三者機関によるチェック、使途・領収書などの全面公開
- ・ 議員の責務や議会のあり方を規定した「議会基本条例」の制定
- ・ 議員定数の見直し：64 議席から 4 減 ⇒ 60 議席
- ・ 委員会質疑の大幅な時間延長や一問一答方式の導入

## さいたま市初となる「事業仕分け」を実施！

さいたま市は今後、急速に高齢化が進み、市税収入の落ち込みが見込まれる一方、高齢者福祉分野への財政負担が拡大していくことは明らかです。

市の中期財政収支見通しでは、平成 23 年度以降の 5 年間で約 1069 億円の財政不足が生じるとのことです。

そうした状況を考えれば、徹底した行財政改革は待ったなしといえます。

そのような中、私たち民主党・無所属の会 さいたま市議団では、行財政改革の切り札とも言われる「事業仕分け」を実施いたしました。



### 仕分け結果

A-1 保養施設管理運営事業【民間】	B-1 区役所 ISO14001 運営管理事業【不要】
A-2 成人式のあり方【要改善】	B-2 庁舎・区役所駐車場管理運営事業【要改善】
A-3 雇用対策推進事業【要改善】	B-3 郵便局証明書等発行事務事業【要改善】
A-4 商工見本市開催事業【要改善】	B-4 浦和斎場管理運営事業 火葬場【要改善】／ 斎場【民間】
A-5 市営住宅事業【要改善】	B-5 まちづくり広報誌発行事業【不要】
A-6 幼稚園管理運営事業【不要】	B-6 青少年宇宙科学館管理運営事業【要改善】
A-7 シティカップ開催事業【不要】	B-7 東京事務所管理運営事業【不要】
A-8 互助会事務事業【不要】	B-8 職員研修事業【要改善】
A-9 広報事業【要改善】	B-9 市政総合案内コールセンター【不要】

この結果をもとに会派としてさらに精査し、中長期的に検討すべき事項、次年度事業から反映すべき事項に整理し、改めて政策提案として市長に提出いたしました。

## 子宮頸がん・細菌性髄膜炎ワクチン無料化へ

子宮頸がんや乳幼児の細菌性髄膜炎を防ぐワクチンの接種などについて、私の所属する保健福祉委員会ではこれまで、国に助成を求める意見書の提出を行うほか、請願審査・議案外質問などを通じて様々な議論が行なわれてきました。そのような中、国では先月、接種費用を国と地方で半分ずつ補助して無料にする補正予算を成立させました。これを受けて、さいたま市では本年度中から実施しようと、2 月議会で補正予算案を提出し、3 月からの実施を目指しています。

子宮頸がん 中学 1 年～高校生 (2 万 4 千人) 3 回  
肺炎球菌とヒブ 生後 2 ヶ月～ 4 歳 (6 万 5 千人) 4 回

※1 年間の総事業費は約 30 億円程度と見込まれています。